

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課
 担当課長名：田中 衛

事業名	市道256号線		事業区分	地方道	事業主体	とみぐすくし 豊見城市	
起終点	自：沖縄県豊見城市字翁長 至：沖縄県豊見城市字豊崎			延長	2.46km		
事業概要	市道256号線は国道331号を起点とし「豊崎開発事業地区」までの2.46kmの歩道を伴う2車線の新設道路である。 本道路は国道331号と「沖縄県主要事業推進計画」に位置づけられた160.5haの埋立地を連結することにより域内交通の円滑化をはかり、同地区住民の通勤・通学の日常生活や臨空港産業、観光振興、商業等の経済活動に資する目的で整備されるものである。						
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H8年度用地着手		H10年度工事着手		
全体事業費	約44億円		事業進捗率	73%		供用済延長	1.2km
計画交通量	3,100台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 14.6	総費用 (事業費) 7/46億円 (維持管理費) 0/0億円	総便益 (走行時間短縮便益) 100/100億円 (走行費用減少便益) 0/0億円 (交通事故減少便益) 0/0億円	基準年 平成17年			
事業の効果等	・個性ある地域の形成（豊見城市地先開発事業である豊崎プロジェクトを支援し、新規整備の公共公益施設へ直結する道路である。）						
関係する地方公共団体等の意見	豊見城市は地域住民から早期の道路整備について要請を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成18年2月の国道331号豊見城バイパスの暫定供用開始及び、豊見城市地先開発事業地区の豊崎開発により交通量が大幅に増加している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度末までの用地進捗率は69%、工事進捗率は78%であり、平成20年度までに残りの工事及び用地を完了し、平成21年度に全線供用開始予定である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	内陸部の用地・補償交渉に時間を要したが、平成18年度には用地取得する予定である。今後は、工事を積極的進め平成21年度に全線供用予定である。						
施設の構造や工法の変更等	特になし。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							